

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

教育企画課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』
1-4 教育環境を整備します

施策

1-4-1 学校等施設・設備の整備

創生総合戦略

該当なし

目的

1 老朽化した学校及び学校給食センターの施設・設備の整備を行い、学習環境の改善を図ります。

目標

1 学校等施設・設備の整備

学校施設の耐震化は完了しましたが、児童生徒が良好な環境のもとで学習できるよう、長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策を進めます。

また、学習環境の改善及び省エネルギー化等の観点からトイレの洋式化、照明のLED化を図ります。

さらに、児童生徒の心身の健全な発達及び食育の推進のため実施する学校給食では、設備の老朽化に伴う故障などにより安全で安心な給食提供への影響が懸念されることから、学校給食センター設備等の修繕及び更新を計画的に行います。

実績

1 学校等施設・設備の整備

(1) 南中学校校舎照明及び受変電設備改修工事、北中学校衛生設備改修工事等を実施、南小学校揚水ポンプ設備改修工事等を行いました。緊急性の高い修繕を実施し、学習環境の改善に努めました。

(2) 学校給食センターの設備機器の修繕を行いました。具体的には、システム洗浄機蒸気ブースター更新工事、蒸煮冷却機修繕、食缶洗浄機修繕など34件の修繕、更新を行い、給食設備の安全性と安定性を高めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	「学校施設や学習環境に満足している」と回答する児童生徒の割合	90 %	88 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

--

目標の実現に向けた今後の取組

学校施設長寿命化計画に基づき、学校環境の改善及び省エネルギーの観点から、トイレの洋式化、照明のLED化を進めます。また、今年度「学校施設長寿命化」を改訂し、現在の現状を踏まえた、より具体的な計画を策定します。
--

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 教育企画課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』
1-4 教育環境を整備します

施策

1-4-2 読書環境・ICT環境の整備

創生総合戦略 該当なし

目的

2 学校における読書環境及びICT環境の整備を図ります。

目標

1 読書環境の整備

自ら進んで読書に親しむ心豊かな子どもを育てるため、学校図書館における蔵書の充実や人材の育成を図り、読書環境の整備に努めます。

2 ICT環境の整備

学力向上を目指した授業改善、情報活用能力の育成及び事務の効率化を図るため、第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）での整備基準を目標に、学習指導要領に沿ったICT環境の整備に努めます。

実績

1 読書環境の整備

(1) 読書を推進するイベントを実施するなど様々な工夫を凝らして、自ら進んで読書に親しむ環境づくりに取り組みました。また、児童生徒の声を基に学校司書と図書主任が連携して本の選定を行い、児童生徒が読みたくなるような蔵書の充実を図りました。

2 ICT環境の整備

(1) 「GIGAスクール構想」による児童生徒1人1台端末の導入から数年が経過し、校内無線LANネットワーク及び校務支援システムの整備、電子黒板の設置等、学校のICT環境が整備されてきた中で、新たな課題も見えてきました。今後1人1台端末、その他ICT機器や各種システム更新も必要であり、国・県の動向を注視し、財源確保も含めた更新等の検討を進めていくことが必要です。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	中学生の一人平均貸出冊数	18冊	12冊
	「授業でパソコンを利用する環境が整っている」と回答する児童生徒の割合	90%	94%

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も学校における読書環境の整備に努めます。また、ICT環境の整備では、令和元年以降に導入してきた機器の更新時期を迎えることから、利活用状況等の意見聴取を行いながら、さらなる教育DXの推進に努めます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

教育企画課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのまち』
1-4 教育環境を整備します

施策

1-4-3 学校規模の適正化の推進

創生総合戦略

該当なし

目的

3 活力ある学校教育の実現に向け、学校規模の適正化を図ります。

目標

1 複式学級の解消

一定規模の集団生活の中で多様な考え方に触れ、社会性を養うとともに確かな学力を獲得するため、複式学級の解消に努め学校規模の適正化を図りながら、活力ある学校教育の実現を目指します。

実績

1 複式学級の解消

(1) 複式学級が複数となった西郷第一小学校が、令和4年度より南小学校に統合したことで市内小学校の複式学級が解消されましたが、児童生徒の減少傾向は進行していることから、引き続き、今後想定される複式学級の解消に努める必要があります。

	区分	令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	複式学級がある学校数	0校	0校

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

将来の児童生徒数や学級数の推移を見極めながら、引き続き、複式学級の解消に努めてまいります。また、時代に対応した教育環境整備を推進するため、望ましい学校規模及び魅力ある学校づくり等について、保護者・有識者等による委員会を設置し検討を進めます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

学校教育課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのみち』
1-3 生きる力を育む学校教育を充実します

施策

1-3-1 確かな学力を育む学校づくりの実現

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

目的

1 互いに信頼し合い、心と力を合わせて学習に取り組み、一人ひとりが安心して学校生活を送ることができる学級集団づくりを推進し、「確かな学力」の育成に努めます。

目標

- 1 望ましい学級集団の形成
「Q-U」の実施を通して、各学校の実態をとらえて分析し、学術機関の助言を受けながら、親和的な学級集団づくりを基盤とした学力向上施策に取り組みます。
- 2 「学び合い」を中心とした授業改善の推進
「確かな学力と豊かな人間性・社会性を育む学び合いを中心とした授業」の構築に向けた指導・助言の機会を充実し、児童生徒が「わかる・できる」喜びを味わうことができる授業改善に継続的に取り組み、学力の向上につなげます。

実績

- 1 望ましい学級集団の形成
- 2 「学び合い」を中心とした授業改善の推進

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	「学級での生活に満足している」と回答する児童生徒の割合	65 %	58 %
	NRT検査の結果	小・中学校ともに全国平均を上回る	小・中学校ともに全国平均を下回りました。

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

探究的・協働的に学び続け、確かな学力を育成することを意識した授業が、十分に展開されなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

大学教授を招聘し、授業づくりを重点とした研修の充実を図るとともに、発達支持的生徒指導を意識した授業づくりを推進していきます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 学校教育課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱい』のまち
1-3 生きる力を育む学校教育を充実します

施策

1-3-2 特色ある学校づくりの実現

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 移住・回帰につなぐきっかけづくり 都市部からの移住・交流の推進 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

目的

2 社会や子どものニーズに対応した学校づくりの実現を目指します。

目標

1 個に応じたきめ細やかな指導の充実

学校教育支援員・学校生活指導員等の適切な配置により、特別な支援を必要とする児童生徒の学習や生活の支援、複数教員で授業を受け持つチームティーチング等の授業サポートを行うことで、学校生活への適応支援を充実させ、一人ひとりが安心・安定した学校生活を送れるようにします。

2 特色ある学習活動の推進

「総合的な学習の時間」における、調べ学習、フィールドワーク等の「ふるさと学習」や、短歌作り、短歌卒業式等の「短歌学習」など、本市ならではの教育を進めていきます。また、登下校時に使用しているスクールバスを有効活用し、各校の必要に応じて運行することで校外学習の充実を図ります。

実績

1 個に応じたきめ細やかな指導の充実

2 特色ある学習活動の推進

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	「学校内に気軽によく話ができる大人がいる」と回答する児童生徒の割合	85 %	84 %
	「特色ある学習活動が展開されている」と回答する保護者の割合	85 %	79 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

総合的な学習の時間等におけるふるさと学習を充実するために、地域に人材や資源を求め積極的に活用する教育活動が十分図られなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

児童生徒が地域に目を向け、自ら課題を設定し、総合的な学習の時間等において、探究的な教育活動の充実を図っていきます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 学校教育課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱい』のまち
1-3 生きる力を育む学校教育を充実します

施策

1-3-3 担任力の向上

創生総合戦略 3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 学校教育の推進

目的

3 子ども一人ひとりの課題に対応できる教員の「担任力（学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力を統合した指導力）」の向上を図ります。

目標

1 教員研修の充実

「教育は人なり」と言われるように、子どもの最大の教育環境は「教師」です。子どもたちを直接指導する教員個々の力量を向上させていくことが、学校教育の充実につながります。

「担任力」とは、学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力を統合して、授業を核とした学級・学年・教科経営を行っていく力です。本市の大きな課題である「学力向上」に向け、この「担任力」を高めるべく、研修を企画・運営することで、子どもたちが充実した学校生活を送れるようにします。

さらに、経験年数5年以下の教員を対象にした講座を開講するとともに、学校の求めに応じて指導主事を派遣する指導主事巡回相談を実施し、教育技術の継承や学校運営意識の高揚に取り組みます。

実績

1 教員研修の充実

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	「学校に行くのが楽しい」と回答する児童生徒の割合	88 %	81 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

経験年数5年以下の教員を対象にした講座の開講や指導主事巡回相談等を実施し、担任力の向上を図りましたが、児童の意識を大きく変えることには繋がらなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

子どもたちが「わかった・できた」を実感したり、学習課題に対して主体的に探究したりする授業実践が展開されるよう、引き続き要請訪問での指導助言や、研修講座の開催等を通して教職員を支えていきます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-2 魅力ある生涯学習を推進します

施策

1-2-1 生涯学習環境の整備

創生総合戦略 該当なし

目的

1 生涯学習環境の整備を図ります。

目標

1 公民館の施設整備と学習機会の充実

住民が安全に安心して学習できる環境の充実を図るため、市が設置した全ての公民館が耐震基準を満たした施設になるよう整備するとともに、老朽化した各公民館の建物や設備の改修、修繕を行い、公民館機能の充実を図ります。

また、住民主導の活動を推進するため、7地区（西郷・本庄・東・宮生・中川・中山・山元）において指定管理による公民館運営を行うとともに、本庁地区の3公民館（中部・北部・南部）に指定管理者制度を導入し、効果的で効率的な運営を目指します。

さらに、住民の学習ニーズや地域の抱える課題を的確に捉え、人・自然・歴史・文化等地域の特性を活かした生涯学習事業を展開するとともに、学習活動への支援を通して、幅広い年代に多様な学習の機会を提供します。

実績

1 公民館の施設整備と学習機会の充実

(1) 北部地区公民館講堂調理室改修、中川公民館調理実習室改修等を行いました。また、コロナ禍の影響が残る各地区公民館において、各事業の目的や成果と課題を踏まえながら地域の特色を活かした事業、講座や教室を開催し、毎月公民館だよりを発行、各戸に配付するとともに、ホームページによる情報提供を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	公民館事業へ参画した人数	27,000 人	17,901 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

対前年比143%（約5,400人増）と増加しましたが、コロナ禍の影響が残り、公民館事業がコロナ禍前の状態まで戻っていないことから目標値を下回りました。

目標の実現に向けた今後の取組

公民館のハード・ソフト両面の整備を通して魅力ある生涯学習の推進を図ります。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのみち』
1-2 魅力ある生涯学習を推進します

施策

1-2-2 青少年の健全育成と地域の教育力の向上

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 子どもの生きる力を引き出す仕組みづくり 家庭教育と地域教育の充実 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

目的

2 青少年を地域全体で守り育てるとともに、学校・家庭・地域と連携し地域の教育力の向上を図ります。

目標

1 青少年の育成を支える環境づくり

青少年の健全育成を進めるため、ボランティア活動を行うジュニアリーダーの養成や活動支援に取り組みます。また、青少年の健全育成の輪を市民に広めるため、青少年育成関係団体との連携を図り、青少年を地域全体で守り育てる環境づくりに努めます。

2 学校・家庭・地域との連携による心豊かな子どもの育成

次代を担う子どもたちの豊かな人間性を形成するため、地域等と連携し、子育てに関する学びの場を提供するほか、放課後子ども教室等で地域の人材や資源を活用した学習活動を進めることを通して、家庭や地域の教育力の向上を図ります。

実績

1 青少年の育成を支える環境づくり

(1) 子ども会育成連絡協議会主催事業少年少女ミニバスケットボール大会を4年ぶりに開催し子ども会の活性化と子どもたちの体力増進・健全育成を図りました。海の子山の子交歓会では、活動を通して参加者の交流を深めるとともに高校生ジュニアリーダーあすなろの養成を図りました。青少年育成市民会議表彰式を開催し、青少年育成功労者及び善行青少年といじめ防止標語の表彰を行いました。

2 学校・家庭・地域との連携による心豊かな子どもの育成

(1) 市内の保育施設等5施設で家庭教育に関する学習機会等の提供を行いました。また、放課後子ども教室を市内5か所で開催し、放課後・土日の子どもの居場所づくりを行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	ジュニアリーダーあすなろの新規登録者数	5人	11人
	放課後子ども教室参加児童の満足度	80%	81%

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

--

目標の実現に向けた今後の取組

放課後子ども教室に参加する児童の満足度が向上する多様なプログラムを提供することで、子どもたちの豊かな人間性を形成する環境づくりに努めます。

所属 生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-2 魅力ある生涯学習を推進します

施策

1-2-3 図書館機能の充実と読書活動の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 市内の賑わいづくり 中心市街地の賑わい創出

目的

3 利用しやすい図書館づくりと、読書に親しみやすい環境づくりを進めます。

目標

1 魅力ある図書館づくり

市立図書館が、自主的な学びの場、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の文化・知的情報の拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応えることができるように、地域の実情に即した運営に努めます。また、図書資料・視聴覚資料の計画的・体系的な収集に努め、所蔵資料の充実を図るとともに、利用者の多様なニーズや課題に即した質の高いサービスを提供するよう努めます。

さらに、老朽化した設備等の修繕・点検を計画的に実施し、快適な読書環境の整備に努めます。

2 市内施設・団体との連携

学校・児童施設・公民館・市民ボランティアとの連携を図り、多様な事業運営を行うことにより、一人ひとりの子どもが小さい頃から読書習慣を身に付け、心豊かに成長する環境づくりに努めます。

実績

1 魅力ある図書館づくり

(1) 計画的・体系的な資料の収集保存に努めながら、利用者の多様なニーズに沿った企画・イベント等を開催するとともに、課題に即した質の高いサービスを提供するため積極的に研修会等に参加しました。また、男子トイレにおむつ交換台を設置し快適な環境整備に努めました。

2 市内施設・団体との連携

(1) 学校・施設・公民館等への団体貸出、市内学校の図書館利用体験の受け入れを行うとともに、学校図書館司書等を対象にした読書活動指導者研修会やマタニティブックスタート、ボランティアによるよみきかせ講座を開催し、子どもが読書習慣を身に付け心豊かに成長する環境づくりに努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	市立図書館入館者数	95,000 人	82,356 人
	ボランティアとの連携事業開催数	80 回	66 回

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

入館者については、昨年度より増加しましたが、若者の電子媒体利用等による読書離れが想定されます。ボランティア連携事業については、ボランティア数の減少と高齢化が、原因として考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

幅広い年齢層を集客できる事業の開催や、ボランティア養成講座と募集PRを継続しボランティア確保に努めてまいります。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-5 する・観る・支えるスポーツを推進します

施策

1-5-1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

創生総合戦略 該当なし

目的

1 ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

目標

1 誰もがスポーツに親しむ機会の創出

市民のスポーツ・レクリエーション活動の支援をするとともに、市民一人ひとりが、生涯を通じて「する」「観る」「支える」スポーツに親しむことができる環境を創出します。

2 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団及び学校等の地域社会全体が連携・協働し、児童・生徒の体力向上とスポーツの楽しさや喜びを体験できるスポーツ環境の充実を図ります。

3 地域のスポーツ施設等の充実

障がいの有無にかかわらず子どもから高齢者まですべての市民がスポーツ活動を行うことができるよう、公共スポーツ施設等の改修・整備及び適正な管理運営に努めます。

実績

1 誰もがスポーツに親しむ機会の創出

(1) 市民スポーツ教室、出前スポーツ教室を開催し、スポーツに親しむ機会を提供しました。

2 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

(1) スポーツ少年団、総合型スポーツクラブ等と協議しながらキッズ向けの教室を開催するなど、スポーツ環境を維持しました。

3 地域のスポーツ施設等の充実

(1) 施設のZEB化工事やトイレの洋式化を実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	運動が好きな市民の割合	69 %	51 %
	運動が好きな小学生の割合	90 %	87 %
	公共スポーツ施設利用者数	300,000 人	276,056 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

運動が「好きではない」「あまり好きではない」市民の割合がコロナ禍前より高く、コロナ禍でスポーツに触れる機会が減少し、スポーツに対する意識が薄れたことにより、目標には達しませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

ライフステージに応じたスポーツ活動を推進してまいります。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-5 する・観る・支えるスポーツを推進します

施策

1-5-2 競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

目的

2 競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境を整備します。

目標

1 トップアスリートの発掘・育成・強化

学校、市体育協会、スポーツ団体と連携し、蔵王坊平アスリートヴィレッジ等市内スポーツ施設を拠点として、ジュニア期からトップレベルに至る体系的かつ戦略的な支援を強化します。

2 全国規模の大会開催の誘致

全国大会、東北大会等の大規模な大会誘致に努め、競技力向上に取り組むとともに地域の活性化につながるよう努めます。

実績

1 トップアスリートの発掘・育成・強化

(1) 上山市スポーツ協会において特別強化指定競技団体を6団体選定し、選手の育成・強化を図りました。また、指導者講習会を開催しました。

2 全国規模の大会開催の誘致

(1) 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会、全日本エアロビックフェスティバル、蔵王坊平クロスカントリー大会、第32回かみのやまツール・ド・ラ・フランス大会を開催しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	殊勲賞の受賞件数	60 件	26 件
	全国規模の大会開催数	3 大会	4 大会

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い大会開催自粛は収まってきましたが、大会の開催がコロナ禍前には完全に戻っていないため、殊勲賞受賞者数は目標に達しませんでした。また、全国規模の大会は、国民スポーツ大会冬季大会を誘致できませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

引続き関係団体と連携し、引き続き選手育成強化を図ってまいります。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-5 する・観る・支えるスポーツを推進します

施策

1-5-3 スポーツを通じた地域活性化の推進

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり スポーツを通じた地域活性化の推進

目的

3 スポーツを通じた地域活性化を推進します。

目標

1 トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出

トップアスリート等が合宿やスポーツイベントで訪れる際に、コーチ等から指導方法、練習方法に触れる機会を設け、技術や経験を地域スポーツに有効に活用し、選手のレベルアップにつなげる好循環の創出を目指します。

2 蔵王坊平アスリートヴィレッジ整備構想の推進

施設の利用促進を図り、アスリート育成とスポーツを通じた地域経済の活性化への貢献を目指すとともに、大規模な大会や合宿の際に必要な市民ボランティアを育成し市民活動と一体となったスポーツツーリズムの推進を図っていきます。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の海外からの事前合宿受入れ実績を財産とし、今後も国際大会の事前合宿のみならず通常合宿誘致にも取り組みます。

実績

1 トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出

(1) 駅伝常連校の仙台育英学園高校監督から指導を受ける機会を設けました。

2 蔵王坊平アスリートヴィレッジ整備構想の推進

(1) 医科学サポートを受けられるNF（中央競技団体）の強化指定選手以外にも幅広くサポートを受けられるよう、地域おこし協力隊を活用し各団体の支援を行いました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	トップアスリートとの交流事業回数	4回	1回
	蔵王坊平アスリートヴィレッジ利用者数	76,000人	63,955人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、時期尚早の動きがあり、交流回数は目標に達しませんでした。また、利用者数は、コロナ禍前まで回復していないこと、山形県ジュニア駅伝競走大会がなくなったことにより減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

交流回数は時期を見計らってトップアスリートとの交流の場を提供していきます。利用者数については、県と一体となった誘致活動の実施していきます。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属 生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱい』のまち
1-6 伝統文化を継承し文化芸術を振興します

施策

1-6-1 文化財愛護による地域づくり

創生総合戦略 2 かみのやま「来てよし」プロジェクト 地域資源を生かした環境づくり 文化財の適正な保存と活用の推進

目的

1 文化財愛護を通して地域の魅力をさらに高め、住民主導の歴史まちづくりを推進します。

目標

1 文化財の適正な保存管理と活用の推進

地域の歴史を語る有形・無形の文化財を正しく保存管理し、人が集い交流する拠点として活用するとともに、武家屋敷や城下町等の新たな調査や保存・活用を通して地域の魅力を高めます。また、計画に基づいて国史跡羽州街道檜下宿金山越の保存・活用・整備を進めるほか、文化財保護に携わる保存会等の活動支援や、ふるさとに伝わる郷土芸能の資料収集及び情報発信等を通して、文化財を核とした地域コミュニティの絆をより一層深めます。

実績

1 文化財の適正な保存管理と活用の推進

- (1) 市民が集い交流する活動拠点として歴史的建造物を活用しました。武家屋敷「旧曾我部家」活用実績：文化団体数6団体、利用回数22回、利用者数2,875人／放課後子ども教室「かみのやま寺子屋」参加児童延べ人数2,390人
- (2) 歴史的建造物を適正に保存し、後世に正しく伝承するため、茅葺屋根等を適正に修繕しました。修繕実績：武家屋敷「旧曾我部家」「森本家」
- (3) 国史跡「羽州街道金山越」で、市民参加による史跡の保全活動を実施しました。市民史跡保全活動実績：金山峠越え羽州街道における史跡保全活動5回参加人数92人

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	歴史的建造物の入館者数	18,900人	9,636人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

保存会や地域と連携を図りながら歴史的建造物の適正な保存及び公開活用を図りましたが、昨年度比では増加傾向が見られるものの、コロナ禍に伴う催事等の縮小や中止が継続したため目標値に達しませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

文化財の適正な保存と積極的な公開活用を図るとともに、諸調査による地域資源の磨き上げや調査成果の地域への還元を通して、ふるさと理解の推進と郷土愛の醸成を図り、住民主導の歴史まちづくりを推進します。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

生涯学習課

振興計画

第1章 はぐくむ『笑顔いっぱいのもち』
1-6 伝統文化を継承し文化芸術を振興します

施策

1-6-2 文化芸術活動の環境づくり

創生総合戦略

該当なし

目的

2 文化芸術の普及推進を図り、市民が文化芸術活動に親しめる環境づくりに努めます。

目標

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

多くの文化芸術団体に取り組む自主的な活動と団体の育成を支援するとともに、文化団体協議会をはじめとした関係団体と連携し文化芸術事業の充実を図ります。

2 優れた文化芸術に触れる機会の創出

児童生徒の芸術鑑賞機会の確保や優れた文化芸術に触れる機会を設け、市民の文化芸術に対する意識の高揚を図ります。

3 斎藤茂吉のふるさとづくり

斎藤茂吉のふるさととして、関係団体と連携して茂吉に縁のある多様な催事を開催し、地域文化の振興に努めます。

実績

1 文化芸術団体の育成と活動の支援

(1) 文化団体協議会の活動支援のほか、「令和5年度文化芸術功労者を称える会」を開催し2個人を表彰しました。

2 優れた文化芸術に触れる機会の創出

(1) 三友エンジニア体育文化センターを主会場として「第67回上山市総合文化祭」を開催し、作品展示やステージ発表を行いました。

3 斎藤茂吉のふるさとづくり

(1) 「第50回斎藤茂吉記念全国大会」及び「第57回茂吉忌合同歌会」を開催したほか、「第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」には国内外の128校から9,800首の応募がありました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	文化団体協議会の加盟団体数	23 団体	23 団体
	総合文化祭来場者数	6,600 人	3,610 人
	茂吉忌合同歌会等における本市からの応募割合	20 %	8 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

上山市総合文化祭を2日間開催いたしました。ステージ発表等の催しを1日目に集約したことで2日目の内容が作品展示のみとなったことなどにより、来場者数が減少し、目標に達しませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

文化団体と連携を図り、特に小・中学生が文化芸術活動に触れる多様な機会を提供するとともに、自主的な文化活動の支援を通して文化芸術活動の環境づくりに取り組みます。